



講師

武井 圭一

たけい けいいち

理学療法学科

【専門領域】

脳血管障害に対する理学療法

糖尿病に対する理学療法

急性期－回復期における理学療法

研究・実務の業績

1. 武井圭一，金子誠喜，國澤洋介，他：回復過程の脳卒中片麻痺者への部分免荷トレッドミル歩行練習の特徴-異なる歩行練習間の歩行速度変化、歩行距離、歩容の比較-，理学療法学，37(3),139-145,2010
2. 武井圭一，國澤洋介，森本貴之，他：糖尿病教育入院期間における行動変容ステージ別の身体活動量の変化，埼玉県包括的リハビリテーション研究会雑誌，15(1),15-19,2015
3. 武井圭一，岩崎寛之，鈴木翔太，他：急性期脳卒中患者における合併症予防のための離床開始時期，第55回日本リハビリテーション医学会学術集会，2018
4. 武井圭一，赤坂清和：早期離床・早期回復のためのリハビリテーションの取り組み，日本クリニカルパス学会誌，19(3),233-236,2017

学生へのメッセージ

大学病院、地域密着型病院で理学療法士として勤務してきました。病院で理学療法の対象となる方は、病気やケガによって心身に障害を来し、日常生活動作に支障がある場合がほとんどです。“困っている人の役に立ちたい”という気持ちが大事ですが、それだけでは役に立てません。対象者と真摯に向き合い、信頼される理学療法士になる準備を一緒にしましょう。